

緩和ケア普及啓発に関する活動報告書

提出日 2014 年 1 月 30 日

緩和ケア普及啓発活動についての報告

実施団体	
旭川医科大学病院緩和ケア診療部	
企画名	
かんわケア・カフェ	
事前告知、募集の方法について(ポスター、チラシの配布など)	
医療機関・介護施設・医師会へのポスター及びチラシの配布	
当日の実施内容について	
日時(期間)	平成 25 年 12 月 21 日
実施場所	旭川市市民活動交流センターCoCoDe
参加人数	20 名
<p>具体的な実施内容：</p> <p>まず、第 1 部として 2 名の演者による提言を行った。</p> <p>濱氏には、緩和ケア医の立場から、緩和ケアの現状と、がん医療において早期からの緩和ケアが行われる必要性が話された。</p> <p>次に広瀬氏には、がん体験者の立場から、患者が本当に望んでいることは何か、そのヒントになることが話された。</p> <p>休憩をはさんだ第 2 部では、医療者、介護者、福祉者が気軽に話し合えるツールである「ケア・カフェ」の形式に倣って、4 人掛けのテーブルに分かれて、「いつでもどこでも緩和ケアが行われるために」はどうしたらいいか、を自由に話し合ってもらった。その後、席替えをして、もう一度同じテーマで話し合いを行い、最後に各テーブルで話し合われたことをファシリテーターが聞いてまわって、アイデアを全体でシェアした。</p>	
効果について(アンケートの結果など)	
<p>アンケート結果を添付する。</p> <p>内容については概ね理解されていた。</p> <p>今後の同じようなイベントへの参加希望も多数を占めた。</p>	
その他報告	

◆チラシ

平成25年度厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発事業 地域イベント関連企画 in北海道

緩和ケア普及啓発イベント

# かんわケア・カフェ



テーマ：「早期からの緩和ケア」

日時：2013年12月21日(土)

会場：旭川市市民活動交流センターCoCoDe(ココデ)  
旭川市宮前通東

参加人数：100名

対象：医療従事者、介護従事者、福祉従事者

※「早期からの緩和ケア」について主に医療従事者で共有することを目的としています。介護・福祉従事者の参加も歓迎します。

●本市民公営施設は、厚生労働省から日本緩和医療学会に委託された「厚生労働省委託事業」に基づいて実施されるものです。

参加費  
100円  
(飲み物代)

■会場案内図



お問合せ先 旭川医科大学病院 緩和ケア診療部 ☎0166-69-3220

主催 / 特定非営利活動法人 日本緩和医療学会  
共催 / あさひかわ緩和ケアネットワーク、ケア・カフェあさひかわ

平成25年度厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発事業 地域イベント関連企画 in北海道

緩和ケア普及啓発イベント

## かんわケア・カフェ プログラム

司会・進行：阿部 泰之

パナリテーター

日本緩和医療学会 理事 緩和ケア普及啓発WPG員長 演 卓至

深川キリスト教病院 ホスピス・こどもホスピス病院 副院長 池永 昌之

旭川医科大学病院 緩和ケア診療部 副部長 阿部 泰之

前半  
60分

●14:00～15:00

●トリガーセッション

14:00～14:30

緩和ケアとは何か：緩和ケア医(演 卓至 さん)

14:30～15:00

緩和ケアの必要性：がん体験者(広瀬 真由美 さん)

●15:00～15:15 休憩15分

後半  
90分

●15:15～16:45

●ケア・カフェ (マスター：阿部)

テーマ「いつでもどこでも緩和ケアが行われるために」

一般医療者・介護福祉者の立場から(つまり緩和ケアの非専門家)、緩和ケアが現場のどんな場面で必要であって、どのようにしたら行き届かせることができるのか、テーブルを囲んで話し合ってもらいます。

ケア・カフェ形式で、リラックスした雰囲気の話合いです。気楽にご参加下さい。

●16:45～ まとめ：池永 昌之 さん

